

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 史跡を買収した後の史跡整備及び維持管理には多大な経費とともに人員を要する。買収要望には、厳しい財政状況からすぐに応じられないのが現状であり、現状変更の許認可等の対応に苦慮している。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 実施計画の中で計画的な買収を行った。 史跡の維持管理(草刈り、枝払い等)を(財)鎌倉風致保存会やシルバー人材センター、中学校との協働により行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 随時の買収要望には応じられていない。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 計画的な買収を行っていく。 実施計画の買収計画地以外にも文化財保護法による規制により、随時買収要望があり史跡の保護・保存及び整備上重要な土地については、緊急で購入しなければ事業の推進に支障がでる場合があることから、随時買収計画を見直していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	今後も実施計画に基づき、継続して計画的な買収を行っていく必要がある。計画期間内であっても他の土地を緊急で購入しなければ、将来にわたり取得できなくなる場合や許認可の指導に苦慮する場合があります、必要に応じて計画を見直していく必要がある。				
担当課長氏名:		中 里 一 男			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	史跡の保護・保存及び整備・公開・活用のため、重要な史跡地内の土地を継続的・計画的に買収を行っていかなければならない。				
担当部名	生涯学習部	部長名	金 川 剛 文		